

事業所名

オレンジハウス こりす・こぐま教室（児童発達支援）

支援プログラム（参考様式）

作成日

7年

2月

28日

法人（事業所）理念		お子さまの「安全で安心できる居場所づくり」と、ご家庭の「ちょっとだけ丁寧な子育て」を、職員チームでコビトのようにハイホー♪ハイホー♪とお手伝いします。					
支援方針		①自然豊かな環境で、四季の屋外あそび・屋内あそびを通じて子どもの発達を支援する。②家庭的な暖かい雰囲気の中で、専門的な子育てサポートを保護者と地域に提供する。					
営業時間		10時	0分から	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	「うわぎをぬぐ・きる」ボタンやチャック、スナップなどの扱いを一緒に練習します。「じょうずにてをあらおう」手洗いなど衛生習慣の確立を支援します。「トイレにいけるかな」年齢と発達に応じたトイレトレーニングの支援を行うとともに、効果的な介入方法を保護者様と一緒に考えます。					
	運動・感覚	「いろいろなものをさわろう」砂・ねんど・新聞紙・水など様々な感触あそびの経験を積みます。「ちからげんをれんしゅうしよう」お友だちへのタッチや遊具の貸し借りなどを、相手がびっくりしない強さで行えるよう、あそびの中で練習する機会を用意します。「じょうずにころぼう」バランスを崩したときに上手に手足で体を支えられるよう、傾斜やでこぼこのある場所で四肢や体幹を使う遊びを工夫します。					
	認知・行動	「くつのみぎひだりどっちかな」左右の認識や靴を履いたときの感覚が育つよう、靴の脱ぎ履きの場面で支援します。「おおきい・ちいさい」大小や色名など生活場面とことばが対応するよう遊びの中で結びつける機会を作ります。「じゅんばんまてるかな」活動の見通しが立ち、次のあそびを楽しみに待てるよう練習するための働きかけを保護者様と工夫します。					
	言語 コミュニケーション	「あいさつしよう」自分に合うやりかたで、来所時や帰宅時、お友だちやスタッフに挨拶できるよう支援します。「かしてっいてえるかな」遊具の貸し借りの場面で必要なやりとりをする練習を行います。「きもちをおしえてね」要望や気持ちを身振りやことばで表現できるよう促します。					
	人間関係 社会性	「みててね、ほめてね」親子あそびや大人とのかかわりの中で、注目されることやほめられる場面を積み重ねることで対人関係と社会性の基礎を養います。「いっしょにあそぼう」保護者様やスタッフ、おともだちとの遊びを楽しむことを通じて、人への興味や関心が育つよう促します。					
家族支援		個別のご相談に随時対応し、活動場面のご見学や参加を通じて支援を行っています。またご希望に応じて、公認心理師によるアセスメント（Vineland-II）の実施や、ペアレントトレーニングも開催しています。			移行支援	見学や情報共有などを積極的に行い、安心して移行できるよう支援しています。	
地域支援・地域連携		地域で実施される各種会議や勉強会に参加しています。緑が丘町内会で開催される地域向け防災学習会に参加し連携を図っています。			職員の質の向上	事業所内での定期的な研修（月1回）を行っているほか、外部で開催される研修にも積極的に参加しています。	
主な行事等		季節の制作・ボールプール・小麦粉ねんど・ボールあそび・風船・新聞紙あそび・ゲーム大会・シーツあそび・サーキット・マットあそび・なわとびあそび					